

# TLS測定法を解説

## 道建協、東北整備局管内で初開催

### 東根市でICT舗装見学会

日本道路建設業協会（道建協、西田義則会長）は、山形県東根市で大成ロテックが施工を担当する「羽入地区舗装工事」（東北地方整備局発注）の現場で11月21日、ICT（情報通信技術）舗装見学会を開いた。会員企業から約20人が参加。

ICT舗装の工程説明や地上型レーザースキャナー（TLS）の測定方法、点群データの出来形評価などについて講習が行われた。写真。

道建協はICT舗装技術の普及を目的に、昨年からの全国各地で見学会を実施し



ている。今回は東北地方整備局管内での初開催となった。見学会では同社の畑中

祐輝現場代理人らがTLSの測定方法や管理方法を解説。質疑では現場の実施状況や計測時の留意事項などについて、現場関係者と参加者がやりとりした。

続いて施工に当たってICTを担当した同社東北支社工事部の小笠原圭純担当がICT活用の成果や苦労点などについて発表。「今後のICT舗装工事では今回習得したノウハウを生かし、iiconstructionの推進を図ってみたい」と述べた。